



社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

ごあいさつ

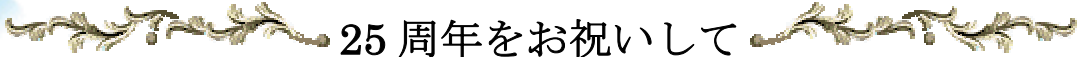


愛知いのちの電話協会
名古屋いのちの電話
理事長 野村 純一

自殺予防の「名古屋いのちの電話」は多くの善意の方々のご支援によりまして開局 25 周年を迎えることができました。

「名古屋いのちの電話」は、1985 年に日本で 23 番目の局として活動が始まり、1999 年から 24 時間 365 日電話相談に応じています。いのちの電話はさまざまな問題を抱えて、独りで相談することもできずに、悩みと不安に苦しみ、生きる希望を失いかけている人々が、生きる意欲を自ら見出す心の支えとなることに努めています。電話をとおしての相談に、研修を受け、認定されたボランティアの人たちが耳を傾けることによって、寄り添い、支えになろうとしています。200 人を超えるボランティア相談員が、2009 年には 2 万 6 千件以上の電話相談に耳を傾けました。日本において 1998 年以来 12 年間自殺者が 3 万 2 千人を超え続けていることに心が痛みます。

25 周年にあたり、この 25 年を支えてくださった皆様に改めて感謝申し上げます。今後ともいのちの電話へのご支援をお願い致します。互いに支えあって、悩みや苦しみを独りで抱えなくてもよい社会の実現を願っています。



25 周年をお祝いして



日本いのちの電話連盟
常務理事 齋藤 友紀雄

貴協会の 25 周年にあたり、日本いのちの電話連盟を代表して、心からのお祝いを申し上げます。

1977 年の連盟発足以来、いのちの電話は全国的な拡大の一途にありましたが、1985 年はその勢いがピークに達した年であるといえるかと思えます。と申しますのは、貴愛知いのちの電話協会をはじめ、熊本、東京多摩、茨城、和歌山など、実に 1 年間に 5 つのいのちの電話センターが開設されたのは連盟の歴史上では最初で最後ともいえます。

殊に中部日本の中核都市である名古屋に、いのちの電話センターが設置されたことは、日本の大都市のすべてにこの運動が行渡ったことを意味しておりまして、連盟の創設に関わった者の一人として、この上ない喜びでございました。

もちろん入念な準備がそこにはございました。1980 年代に入りましてからまず個人的な接触があり、1984 年になり正式に準備委員会が設置された時には、私事のように喜んだことを、今うれしく思い起こしております。その年の冬はかつてない寒波が日本列島を覆ったこともあり、凍りつくような名古屋駅駅頭に立ちつくしたことに、忘れえぬ思い出となりました。その後貴協会の活動が、岐阜あるいは三重など近隣の県にまで影響を及ぼしたことは周知のところでございます。さらに 1992 年には日本自殺予防シンポジウム、96 年には第 17 回相談員全国研修大会を開催されるなど、連盟全体に大きなインパクトを与えてくださいました。

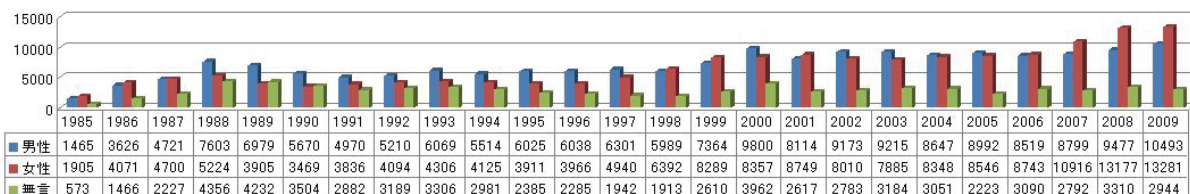
これからも中部の中核都市として、さらに豊かな活動と指導的な役割を果たされますよう心から祈念して、25 周年の挨拶とさせていただきます。

25 年間の受信件数・推移（1985 年～2009 年）

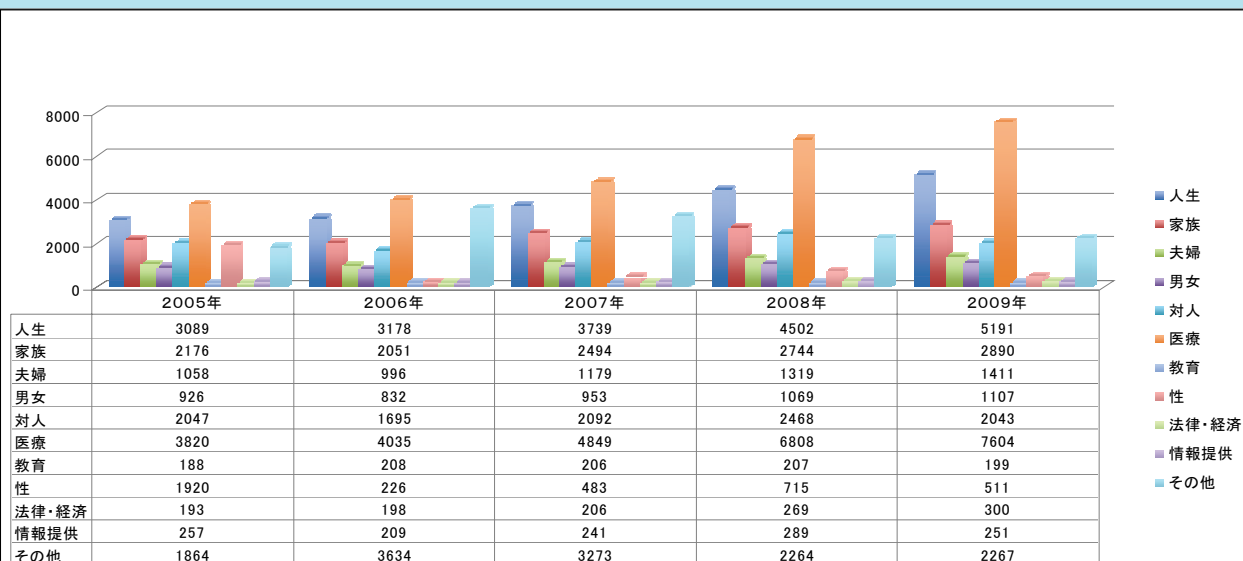
この 25 年を振り返ってみるに、まず電話機の画期的な変化がある。黒電話で 30 分も話していると手首が疲れてしまう重い電話機から、最近の軽くて軽快な携帯電話の普及まで機種そのものが変わってきた。当然玄関先の固定電話での短い会話から、どこにでも自由に携えて話ができる電話機まで出来てしまうと、話の内容はおろか、電話口で費やす時間の長さにも影響してくる。電話一件に費やす話し時間と相談件数を単純に割り出すことは即座に可能ではあるが、この 25 年間の際立った特徴はこれまで男性からの相談が女性のそれと比べて多かったのがここ数年逆転したことであろう。また 1999 年から 2000 年にかけての相談件数の増加は、24 時間 365 日という現在の眠らぬダイヤルがその年に導入されたことである。以来電話三台で対応しているがそれでもなかなかつながらないというクレームの電話もうけるが、新しい電話相談センターで現在 200 人の相談員が日夜真剣に悩み相談を受けている。

25 年間の電話受信件数

受信件数



過去 5 年間の年度別 内容別相談件数

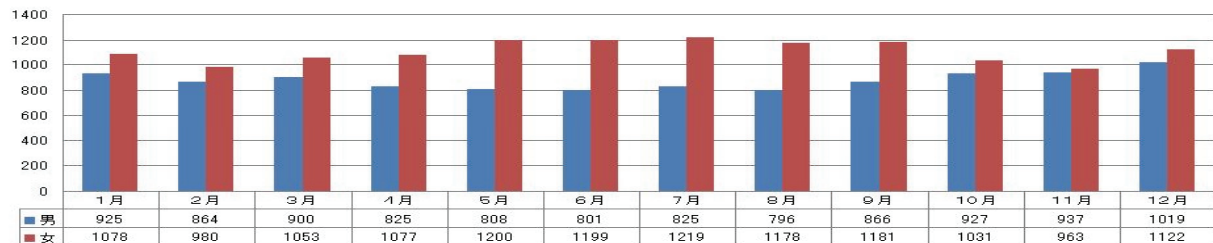


2009 年度の電話相談の実質

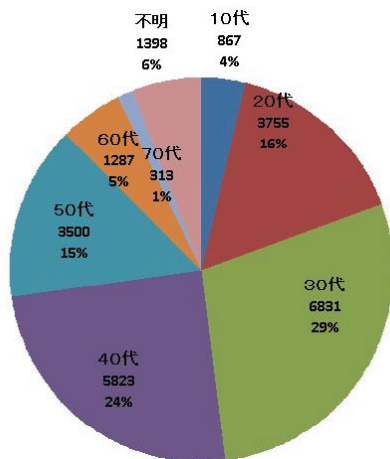
警察庁は 2010 年 5 月に昨年度の自殺者数を公表した。それによれば 32,845 人で、この 12 年間連続 3 万人台を記録している。ここにきて一昨年リーマンショック以来の失業者増加による社会的経済不安からくる自殺の原因、動機がこの数字に表れ、1 昨年よりも 596 人増加している。自殺者の一番多い世代は 50 歳代の 6,491 人、60 歳代の 5,958 人、40 歳代の 5,261 人と中高年者が全体の 54% に上る。一方 10 万人あたりの自殺者数を示す「自殺率」ということになると、20 歳代は 24%、30 歳代は 26% と最悪の状況を見る。その関連から「名古屋いのちの電話」の 2009 年度の電話相談件数の年齢分布を統計からみると、20 代、30 代がそれぞれ 16%、29% とこれまでになく増加している。人に悩みを打ち明けられず亡くなる高齢者と比較して、心の内を相談したいが相談に乗ってくれる人が少ないこの世代の人たちのそういう環境の中で、いのちの電話で悩みを打ちあける若者が増えてきたことも最近の傾向である。またもう一つの自殺の要因として、健康・医療の問題がある。いのちの電話にかけられる相談も昨年度は医療問題が 7,604 件で、全体の 32% であった。以下、経済問題を含めた人生一般にかかわる相談は、5,191 件で全体の 22% だった。この順位は過去 5 年間変わらず、健康・医療がトップで、人生・経済は次ぎにきているが、件数からいえば、健康・医療に関するものは 5 年前と比較して 2 倍に増している。

2009 年月別相談件数

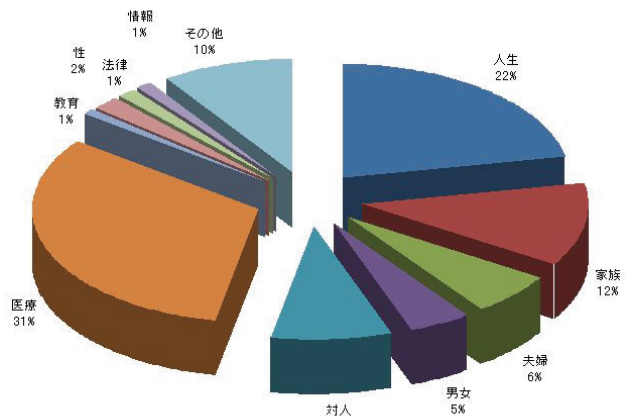
相談件数



相談者の年齢分布



中心問題の電話相談件数



なりました。終演後、控室にご挨拶に伺った時の事でした。私が、3度目の再会が実現できまして、本当に嬉しく思います、ありがとうございましたと手を差し伸べたとき、舘野さんが、あの素敵な笑顔で応え、そうして、ぐうと握りしめられたその腕力に私は驚きました。その日の演奏での素晴らしい、力強い躍動があの握手の中にすべて凝縮され、あの笑顔の奥には、静謐で厳粛なものを感じ取れました。この公演も深い感動を与え、当日足を運んでくださった方々からも喜んで頂きました。

この記念公演が進められているとき、名古屋いのちの電話センターの移転が急遽もちあがり、2010年の3月31日を持って、新しいところを探して引っ越さなければならなくなったのです。急



を要する話で、はたと困り一時は自前のセンター設立の話でもでしたが、これまで通り賃貸の事務所の物件を探し当てるといには、交通の便の良いところとかいう諸々の希望は、ほとんど不可能事で、時間的にいってもおいそれとそれら条件が満たされた場所が見つかるはずがない。最初から悲愴で絶望的な取り組みとなったのですが、そんなおりもあり、株式会社「近江屋」社長、杉浦一宏氏のご尽力で話はどんどん進み、つつがなく予定日までに改修工事が進み、3月17日に新センターに移る事が出来ました。これはもう奇跡の事業といえるものでした。杉浦さんが、私たちの取り組んでいる電話相談にご理解とご協力があつてこそ実現できた移転でした。このことは長年お世話になった「赤門ビル」の故内川正邦氏のご尽力にも言えることで、いろいろな人との出会いがあり、ご協力いただいたからできたことで、それは私たちいのちの電話におくられたかけがえのない贈りものとなったのです。このセンターが、次の時代、30周年、50周年を祝ってくださる礎になる事を切に願っています。

そうしてこの25年間「名古屋いのちの電話」を支えてくださった皆様方の温かいご支援があつたからこそ続けられた市民活動です。紙面をお借りして、感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

賛助会員を募集しています

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です。
- (4) 夏季・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

ご援助ありがとうございます

2010年2月から7月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますとともに報告を申し上げます（順不同・敬称略）

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前を1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 野村 純一・財務委員会

●賛助会費A

安井 充子	田上 文蔵	加藤 順子	森 宣子	梨本 將代
豊田 彬子	渡辺 邦俊	柳原 佳枝	榎本 和	水谷 宣美
小林 弘子	落合 亨子	野口 武夫	古橋 義之	川上 厚成
橋本 良男	鬼頭 洋子	小笠原 覚	田島 淑子	山田 一洋
西浜 久文	大村 祐子	吉岡満智子	八木 武志	柿本 大真
加藤 省吾	下村 徹嗣	臼田 治子		
愛知日野自動車(株)	永沢寺 岡島博司	カトリック高蔵寺教会		

●賛助会費B

榊田 陽子	吉田 愛子	朝見 鈴子	金森 タイ	粕谷 靖彦
栗田美津子	山本 幸江	菅 和世	山口 幸男	笠井 康助
青山 玄	寺西 一雄	菅原 和夫	菅原美智子	豊島 徳三
塩田 保	山口 和子	宮内 英夫	柴田 素伸	武藤 尋子
村井 みほ	新美 純子	細川 拓	芝原 慶次	亀山千恵子
五藤 昭子	溝口 興治	小室美奈子	多和田いみ子	村上 茂子
平尾 泉	金森 なを	村瀬 政子	神田 輝夫	河野登喜子
大森 正樹	榎本久美江	常富 佳子	河田いさを	
昭和美術館	日本基督教団南山教会婦人会			

●賛助会費C

菊池 幸子	小栗 和子	須藤ヨシ子	中川 晋介	水野 真
川村 弘子	相川 義治	岡嶋 恒夫	小栗 厚紀	矢野 静枝
林 温江	神谷 將弘	山下智恵子	近藤 直枝	岩田 鉦一
中出智恵子	野村 妙子	山下タカ子	竹内 宏子	浅野喜代子
三宅 功	安田まゆみ	早川みどり	丸山 佑史	樋口 次雄
小川 浩	前田 誠一	中谷 塩子	斉藤喜世子	細川美代子
山崎 京子	栗田 昌子	小川義雄・マリ子	伊藤 雅子	
矢野 法子	鈴木 久野	山田 敦代	近藤 多美	樋口 次雄
加藤 武	田中 良子	鈴木美登里	寺師美佐子	鈴木 浩之

●寄付金

舟越 洋子	野崎 雅子	阪田 敏子	石川 昌夫	小栗 一則
永井 洋子	鰐部可壽子	宮里 及子	鈴木 栄子	石田 朗子
望月千年成	佐治恭仁子	気駕 まり	太田真知子	吉田加代子
岡田喜美江	岡崎 和子	島 しづ子	加藤 倫子	井沢 陽子

岩間 哲郎	小川 邦泰	吉田 郁子	鈴木 和代	中川 鋪子
棚川 佳延	出岡 知子	高橋 孝子	辻 敬一郎	相馬 幸子
加藤みゆき	佐藤あさ子	濱下 訓子	梶原 壽	家田 足穂
浅野喜代子	今枝 靖夫	野殿 照子	浅野恵美子	新美 純子
山口 幸男	石川 惣輔	鼓 美千代	五藤 昭子	見木 靖美
伊藤恵美子	林 小夜子	加藤 厚子	永井 玲子	稲垣 吉孝
野口 武夫	桐林 真紀	江口志のぶ	宮田喜代子	福原 満江
小山 恒生	山本 秀樹	水谷 巍	松本 勝正	服部 昭子
加藤 武	豊田 江美	高橋紀代子	高橋 勝人	市川 義則
小枝 清子	鈴木 郁雄	水谷 伸江	井上美千代	

社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団
カトリック南山教会四木会有志
日本基督教団名古屋中央教会
日本基督教団鳴海教会
カトリック聖霊奉侍布教修道会
金城学院高等学校
カトリック布池教会
万能工業(株) (株)みどり造園
幼き聖マリア修道会
日本福音ルーテル復活教会婦人会

黒金化成(株)
愛知西地区教会婦人会連合
愛知教会女性の会
日本基督教団金城教会福祉社会委員会
聖心の布教姉妹会鳴海修道院
興徳寺 佐久間敬止
カトリック東山教会
川北電気工業(株) (株)中外
(株)オチアイネクス

興禅寺

●クリスマス募金

日本基督教団名古屋中央教会	金城学院キリスト教センター
日本キリスト教団中京教会	日本基督教団名古屋東教会
(宗)日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド	日本基督教団南山教会
塩田 保	栗田美津子

●賛助法人

武田機工(株)	イリヤ化学(株)	大須観音寶生院
豊田合成(株)	アイシン精機(株)	(株)槌屋
新明工業(株)	トヨタL&F中部(株)	敷島製パン(株)
杉山工業(株)	崇覚寺	トヨタ紡織(株)
(株)青山製作所	あすてボランティア	(株)ミヤタコーポレーション
宗教法人 薬師寺	名証取引参加者協会	岡谷鋼機(株)
社団法人名古屋中村法人会		

この「名古屋いのちの電話」の機関紙は、共同募金配分金によって作成されたものです

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱第 257号
名古屋いのちの電話 <http://www.nagoya-inochi.jp/>

★ 事務局電話	052-508-8381	2010年9月11日発行
★ 相談電話	052-508-8384	発行人 野村 純一
★ 携帯相談電話	NTTドコモ東海「#9556」	編集人 広報委員会